

## 受容の根拠

だから、神の栄光のためにキリストがあなたがたを受け入れてくださったように、あなたがたも互いに相手を受け入れなさい（ローマの信徒への手紙 15：7）。

互いに親切にし、憐れみの心で接し、神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい（エフェソの信徒への手紙 4：32）。

使徒パウロはこれら二つの箇所、互いを受容することの根底にある原則を示しています。キリストが私たち1人ひとりを赦し、受け入れてくださったのに、私たちは互いを赦し、受け入れることを拒めるでしょうか。実際、相手の人の欠点にもかかわらず、私たちが互いを受け入れることができるのは、まさにイエスが私たちを受け入れてくださったからなのです。

このことの意味を真剣に考えてください。あなた自身や、あなたがしてしまったことで、いまだに悩んでいること（あなただけが知っていること、ほかの人に知られたら、あなたが恐れをなしてしまうこと）について、考えてください。

しかし、それがどうだというのでしょうか。信仰によって、あなたはキリストに受け入れていただいています。彼は、ほかの人が知らないこともすべてご存じです。確かに、彼はすべてを知っておられますが、それにもかかわらず、あなたをとにかく受け入れてくださるのです。あなたの善良さのゆえではなく、キリストご自身の善良さのゆえです。

では、ほかの人に対するあなたの態度は、どうあるべきでしょうか。

ある人にとっては理解しがたい考えでしょうが、純粋な受容とは、私たちがその人があるがままに、罪深い習慣を持ったまま受け入れることを意味します。なぜなら、彼らは神のかたちにかたどって創造された人間だからです。「わたしたちがまだ罪人であったとき、キリストがわたしたちのために死んでくださった」（ロマ5：8）ので、私たちはほかの人を赦し、受け入れることができます。私たちが対するキリストの愛が、ほかの人に対する私たちの受容と赦しのまさに基礎なのです（ロマ5：6～10）。

しかし、相手を受け入れ、思いやる関係がひとたび築かれたなら、愛情をこめて聖書の真理をその人に提示する必要がしばしばあります。そうしないことは、相手をおごなりに愛することです。私たちは友だちとして、人生を変える永遠の真理を自分の友人に伝えるよう、十分気にかけるべきです。

イエスの態度は、「あなたの好きなように何でもしなさい。だいじょうぶ。それでも私はあなたを受け入れるから」というものではありませんでした。そうではなく、「あなたがこれまでどんなことをしてきたとしても、私はあなたを喜んで赦し、変わるための力を与えよう」というのが、イエスの態度でした。愛情深い態度を伴ったキリストの精神で、聖書の真理を謙虚に伝えることによって、心を勝ち取り、人生を変えることができるのです。

